

# ピーピー兄弟

THE BLEEP BROTHERS

藤田芳康  
第一回監督作品

この映画は  
絶対  
見られ

テレビで  
まへん!

大阪にアホな  
兄弟漫才師が  
いた!!

ろわきの  
放送禁止映画  
遂に公開!

R-15

2001年  
サンダンス映画祭  
公式出品作品

2002年  
ゆうばり国際  
ファンタスティック映画祭  
公式出品作品





テレビ  
なんか  
死  
んで  
まえ!!

弟の  
**タツオ**  
で〜す!

兄の  
**イクオ**  
で〜す!

兄のイクオはチビでメガネ。弟のタツオはノッポで男前。漫才コンビを組むふたりだが、イクオの頑固さとタツオの短気が災いしてどこの劇場でもうまくいかない。金がなくなれば、嫌々ながら実家の葬儀屋でバイトする日々。大阪・十三のストリップ小屋で今日も舞台上にたつが所詮はストリッパーの添え物。野次の嵐が彼らに降り注ぐ。いい加減にブチ切れたタツオは過激な下ネタを連発。あせるイクオを尻目になんと客には大受けしてしまう。それを見ていた胡散臭いTVディレクター有沢の「テレビにでない?」その一言で兄弟の運命はめまぐるしく変わり始める……。

この映画は **テレビでは絶対見られない!!**

**なぜなら**

洋の東西をとわず映画史上最多であろう、いわゆる放送禁止用語の連発だからである。なりびく"ピー"音に唾然となりながらも、そこに見えるのは、大衆の下世話な好奇心とそれを最大限に利用しつくそうとするマスコミへの批判。そして兄弟、家族、夫婦という普遍的な人と人とのつながりと、そこに巻き起こる悲喜こもごもがあたたかな、しかし鋭い視点で描かれている。本作品の脚本は、1998年のサンダンス/NHK国際映像作家賞を受賞。作者であり、監督でもある藤田芳康は、ロバート・レッドフォードが主催するアメリカのサンダンス・インスティテュートで学んだ後、フランスの女優ジャンヌ・モローがバックアップするエキノックスの脚本ワークショップにも参加。脚本を読んだフランスの制作会社もその斬新さに驚嘆し、共同出資を提案。日本人の第一回監督作品では初めて、異例の日仏合作が実現した。映画「ピーピー兄弟」は世界マーケットをめざした新しい日本映画として注目を集めている。

「生と死、兄弟と家族を見つめた感動的な悲喜劇。思い切り笑わせ、思い切り泣かせる。こんな新鮮な映画みたことない」—— **ジャン=ジャック・ベネクス** (映画監督)



**ピーピー兄弟**  
THE BLEEP BROTHERS

剣太郎セガール/ぜんじろう/みれいゆ/香川照之  
田中裕子/岸部一徳/キダ・タロー/市田ひろみ (特別出演)  
監督/脚本:藤田芳康 製作:ピーピーブラザーズ エグゼクティブプロデューサー:山田晴規、横濱豊行、藤田芳康 プロデューサー:井出秋人、船津晶子  
撮影:清家正信 照明:内野泰宏 美術:平田逸郎 録音:鳥袋保光 音楽:大井秀紀、藤田芳康、吉良知彦  
配給/シネカノン [2000年/日本/カラー/102分/DTSステレオ/1:1.85/R-15指定] **RS-15**

[www.pp-bros.st](http://www.pp-bros.st)

**10月ついに“解禁”レイトショー!! (日曜休映)**

特別前売鑑賞券¥1300 絶賛発売中! (当日:一般・大学生¥1500/シニア¥1000)

梅田ロフトB1 06(6359)1080

★劇場窓口にてお買い求めの方のみ特製ポストカード(限定)をプレゼント  
吉良知彦(ZABADAK)プロデュース作品「ピーピー兄弟」THE BLEEP BROTHERS  
HARV-0004 全10曲 2500YEN (税込) **In store now**

**テアトル 梅田**

上映日程は詳しくは劇場までお問い合わせください

